

## 京都市交響楽団ビジョン（仮称）策定に係る市民意見募集の結果について

### 1 募集概要

#### (1) 募集期間

令和元年9月17日（火）～10月17日（木）

#### (2) 周知方法

##### ア 配架

京都コンサートホール，ロームシアター京都，各地域文化会館，文化芸術企画課，市役所本庁舎，芸術センター，各区役所・支所

##### イ 配布

京響，京響楽団員出演公演での配布

- ・9月定期公演@京都コンサートホール（9/21,9/22）
- ・ドラゴンクエスト スペシャルコンサート@ロームシアター京都（9/30）
- ・ちょっと素敵な朝からクラシック@北文化会館（10/7）

##### ウ ホームページ

京響ホームページ，京響SNS，京都市情報館

### 2 募集結果

#### (1) 御意見数

応募者数：115件，御意見数：287件

#### (2) 御意見をいただいた方の属性

##### ア 居住地

|      | 人数   | 割合   |
|------|------|------|
| 京都市内 | 70人  | 61%  |
| 京都市外 | 27人  | 23%  |
| 未回答  | 18人  | 16%  |
| 合計   | 115人 | 100% |

##### イ 年齢

| 年齢    | 人数   | 割合   |
|-------|------|------|
| 20歳未満 | 3人   | 3%   |
| 20歳代  | 6人   | 5%   |
| 30歳代  | 17人  | 15%  |
| 40歳代  | 24人  | 21%  |
| 50歳代  | 20人  | 17%  |
| 60歳代  | 21人  | 18%  |
| 70歳以上 | 9人   | 8%   |
| 不明    | 15人  | 13%  |
| 合計    | 115人 | 100% |

### (3) 御意見の内訳

| 区分                                | 件数   |
|-----------------------------------|------|
| ビジョン全般                            | 20件  |
| 目指す姿                              | 6件   |
| 戦略1（文化芸術振興）                       | 61件  |
| ①「文化芸術都市・京都」を牽引する文化芸術の振興          | 31件  |
| ②クラシック音楽・オーケストラの楽しさを実感できるプログラムづくり | 30件  |
| 戦略2（ひと・まちづくり）                     | 59件  |
| ③子どもたちの豊かな心をはぐくむ教育プログラムの積極的な展開    | 14件  |
| ④より多くの幅広い市民に京響の音楽を届ける鑑賞機会の提供      | 45件  |
| 戦略3（身近な関係づくり）                     | 59件  |
| ⑤京響ファンに喜ばれるサービスの提供と新たなファンの獲得      | 24件  |
| ⑥京響・楽団員を身近に感じる情報発信                | 35件  |
| 戦略4（組織風土形成）                       | 15件  |
| ⑦プロの音楽家としての誇りと京響楽団員としての自覚・責任の堅持   | 13件  |
| ⑧活発なコミュニケーションによる創造性と調和の追求         | 2件   |
| 戦略5（経営基盤・マネジメント強化）                | 37件  |
| ⑨持続的な収支構造の確立                      | 14件  |
| ⑩京響の発展を支える体制の構築                   | 23件  |
| その他                               | 30件  |
| 合計                                | 287件 |

### (4) 主な御意見

#### ア ビジョン全般

- ・ 高い目標を掲げ、そのための具体策を示した点は高く評価する。また、オーケストラの組織の在り方や経営基盤の整備にも触れた点も画期的である。
- ・ よくまとまったビジョンだと思う。是非実現に向けて新しい試みにもチャレンジしてほしい。
- ・ 多くの方の多種多様な意見をくみ上げ、「画餅」で終わらないようにしてほしい。
- ・ 「オーケストラ」の競争相手は、多種多様な娯楽産業となっている現状を大前提とし、危機感を持って事業を行わない限り、オーケストラとしての生業は将来成り立たないということを共有する必要がある。

○ 京響ビジョン（案）については、一定の評価をいただくとともに、実現に向けてしっかり取り組んでほしいといった意見をいただいた。

## イ 目指す姿

- ・ 目指す姿はその通りだと思う。特に「世界に向けて最高の音楽を発信し続けるオーケストラ」に力を入れてほしい。間口を広げるだけでなく、クラシック音楽の奥深さを追求してほしい。

○ 目指す姿については、賛同する趣旨の意見を多くいただいた。

## ウ 戦略1（文化芸術振興）

### ①「文化芸術都市・京都」を牽引する文化芸術の振興

- ・ 何に重点を置いているのかがやや見えにくい。活動の中核が定期演奏会であり、それが友の会と結びつくべきであるという視点に言及がほしい。友の会とは単なるファンの拡充という考え方にはとどまらない。
- ・ 音楽家の育成は教育機関の役割だが、市立芸術大学との連携とあるように、京響が担える役割もあると思うので積極的に取り組んでほしい。
- ・ 主要都市での公演をもっと催すべきではないか。

### ②クラシック音楽・オーケストラの楽しさを実感できるプログラムづくり

- ・ 「身近な存在として、市民に愛される」ためには、身近な音楽との融合も必要。流行の音楽やアニメ、ゲームの音楽等とタイアップし、クラシック音楽に触れてこなかった人たちにも興味を持ってもらえるよう企画してほしい。
- ・ 日本人作曲家への新作委嘱、伝統芸能とのコラボレーションなどを積極的に行い、古都京都ならではの新しい文化の創出を目指してほしい。

○ 京響ビジョン（案）の方向性に沿ったプログラム等に関する具体的提案等の意見を多数いただいた。

➡ 『定期演奏会を中核とし、』を追記

➡ 今後、演奏会のプログラムづくりの参考としつつ、「クラシック音楽の奥深さの追求」等の意見がある一方で「他ジャンルとのコラボレーションに関する提案」が多数あったことを踏まえ、『クラシック音楽の奥深さの追求や他ジャンルとの共演など多彩なプログラムの創造に取り組む』を追記

## エ 戦略2（ひと・まちづくり）

### ③子どもたちの豊かな心をはぐくむ教育プログラムの積極的な展開

- ・ ジュニアオーケストラは、素晴らしい成果の1つであり、もっと発展させてほしい。
- ・ 小学生、中学生へのコンサートに力を入れているのは、とてもよい。小さい時から「ほんもの」に出会うことは、大きな感動が得られる。娘も少年合唱団で京響とも共演でき感動していた。

#### ④より多くの幅広い市民に京響の音楽を届ける鑑賞機会の提供

- ・ 定期演奏会以外に老人ホームや子供向けコンサートも良いとは思いますが、ワンコインコンサートや、平日昼間に気軽に聞ける1時間のコンサートなど計画してほしい。
- ・ 市民の税金で成り立っている楽団なので、もう少し市民の目に触れる機会があっても良いのではないかと。市内在住だが、ほとんど、目にする、耳にする機会がないのが残念。
- ・ 京響の名を冠した室内楽などを実施してはどうか。その一環として「京都の秋音楽祭」に、楽団員による室内楽が中心になって、主な建物のホール等で演奏し、街と音楽を繋げていただきたい。

○ 教育プログラムや事業について賛同の意見を多くいただいた。また、鑑賞機会の提供については、時間帯、場所、実施方法等について、多くの提案をいただいた。

➡ 今後も教育プログラムに積極的に取り組むとともに、いただいた意見を参考にしながら、鑑賞機会の充実に向けた具体策を検討する。

➡ 『一層目に触れ、耳にすることができるよう』を追記

### オ 戦略3（身近な関係づくり）

#### ⑤京響ファンに喜ばれるサービスの提供と新たなファンの獲得

- ・ 演奏会で音楽を「発信」するだけの一方通行ではなく、例えば、ファンから演奏する曲のリクエストを受ける、今年一番の曲、今年最優秀楽団員・指揮者・ゲストを選ぶなど、ファンの側からのアクションを京響が「受信」することをもっと意識してほしい。京響の発展に自分が貢献したことが目に見える、実感できる双方向の関係があれば、ファンの愛着はより深くなっていくと思う。
- ・ 定期会員のチケットは、当日来られない場合空席になる。京響へのチャリティーチケットをつくって、当日行けない場合、当日券で発行し、そのチケット代は京響へ寄付という制度を使ってみてはどうか。
- ・ 障がい者手帳提示で割引がきかないのはコンサートから離れてしまう要因にもなりかねない。

#### ⑥京響・楽団員を身近に感じる情報発信

- ・ YouTubeの場合は視聴者の好みによって映像がセレクトされるので、京響の演奏風景が配信された場合、世界中で観られる可能性が高くなる。放送局との提携を視野に入れる可能性もある。
- ・ メンバーの顔写真をHPに掲載する（個人情報開示をOKの方のみで良い）。他楽団では概ね公開している。
- ・ パンフレットの内容ももっと充実させる必要（英語併記）がある。京響のパンフレットも改善されたとは思いますが、残せるようなものとする努力が必要ではないか。金額にもよるが、有料でも良いと思う。

○ ファンサービスの充実・新たなファンの獲得については、双方向の関係づくりや楽団員との交流，外国人へのアピールを求める意見を多くいただいた。また，情報発信については，音楽配信等のインターネット活用に関する意見を多数いただいたほか，国際会議などイベント等との連携についても意見をいただいた。

➡ 『ファンとの関係づくりを進め』を追記

➡ 『インターネットをはじめ』及び『また，様々な分野と連携することにより』を追記

#### カ 戦略4（組織風土）

##### ⑦プロの音楽家としての誇りと京響楽団員としての自覚・責任の堅持

- ・ 楽員の資質の向上に資するとの観点から，オーケストラ活動以外の場面で，室内楽や各種アンサンブル，ひいてはソロの活動をもっと積極的に評価し，かつ支援していくといった記述が必要ではないかと思う。楽団の外での幅広い演奏活動が全体のレベル向上に大きく貢献するものと確信している。
- ・ 定期演奏会が終わると一目散に電車に乗り，スマホを触っている楽団員を見かけるが，毎回興ざめする。本物の音楽をいい席で聴きたいと思って定期会員費を工面している者からすれば，がっかりと言うほかない。

##### ⑧活発なコミュニケーションによる創造性と調和の追求

- ・ 曲目や指揮者，シチュエーションによってモチベーションに波が出るのが気になる。芸術家としてそういう面があることは理解するが常に聴衆を意識することで改善するのではないか。そのためにも，その日の聴衆，その日の選曲の意味などを楽員間で共有することが必要。例えば，0歳児にどういう体験をしていただくか，ひとりひとりの楽員が理解を深めることが大切。

○ 楽員ひいては楽団全体の資質向上に向けたアンサンブルやソロ活動の評価等の提案をいただいた。また，楽員の行動等に対する指摘をはじめ，一人一人の自覚を求める意見もいただいた。

## キ 戦略5（経営基盤・マネジメント強化）

### ⑨持続的な収支構造の確立

- ・ 市が条例を制定したのは、大いに歓迎されるべきもの。市の支援体制は重要だが、依存することは危険でもある。地元の企業や団体、個人による恒常的支援をもっと広げ、友の会会員をはじめ、聴衆と相まって楽団を重層的に支えていき、そこへ行政が支援（額面が多くなるのは否めない）するという態勢が求められる。今やクラシック音楽は西洋からの輸入品や一部の好事家の趣味にとどまるものではない。
- ・ ビジネスとして成立しないと最高峰の文化芸術どころではない。異業種のマーケティング技術の活用が望まれる。外部コンサルタントの利用による市場分析や適切な価格設定を採用し、日本におけるアート・マネジメントの先駆となるようなビジネスモデルを構築して頂きたい。

### ⑩京響の発展を支える体制の構築

- ・ 退団した楽団員の補充がなされていないことが気になる。オーボエは、首席が優れているので、その後任を担える若い方を早急に補充する必要がある。コンサートマスターは、この規模のオーケストラでは、最近二人体制が常であり、早急に補充する必要があると思う。客員が多いと、楽団の特徴を出すことが困難になってくると思う。
- ・ これだけのことを進めるなら、優秀な「事務局職員」の確保を意識していく必要があるのでは。専門性のある事務局職員が活躍できる体制づくりを明記しておくことが大切では。

- |  |
|--|
| <p>○ 持続的な収支構造については、市の支援に賛同しながらも、自主財源の確保についての意見もいただいた。また、体制については、空席パートの補充など楽員の体制確保や事務局の充実を求める意見を多くいただいた。</p> <p>➡ （個性を）『伸ばし活かせる環境を整えるとともに、』を追記</p> <p>➡ 最終ページ「5つの戦略の推進に向けて」内に『・分析』を追記</p> |
|--|

## ク その他

- |   |
|---|
| <p>○ 京都コンサートホールの改善（大ホールエレベーターの設置、レストラン活用等）についての意見や京響の更なる飛躍を期待するメッセージをいただいた。</p> |
|---|